

事例

NO. 02

三瓶山西ノ原の自然環境は、自分たちで守る

大田市立池田小学校 緑の少年団

活動テーマ / SDGsゴール



活動内容

10年前より地元保護団体と連携し、バラ科の絶滅危惧種ヒロハノカワラサイコの保護活動を通じ、三瓶山の自然環境の復元に取組んでいます。前年秋に種を採取し、苗作り、秋の三瓶山西ノ原で植栽の一年間の活動。この活動で平成30年度みどりの奨励賞*1を受賞。花の保護活動は、自分たち(3・4年生11名)が中心となり、西ノ原の植物を自分たちで守り、下級生へ引き継ぐ学校全体の活動となっています。自然環境の素晴らしさを体感するとともに、自然を守ることの大切さ、三瓶山の豊かな恵みを学ぶことができます。池田の子ども達ならではのふる里学習です。三瓶の未来の担い手であり、自然と人間の共生を求める児童たちの活動は、今も続いています。

- *1 みどりの奨励賞：公益社団法人国土緑化推進機構 (<http://www.green.or.jp>) より顕彰
- *2 草丈が低いヒロハノカワラサイコは、草原がヤブ化することで数を減らし、また北方系の植物のため気候変動の影響を受けることも心配されています。



ヒロハノカワラサイコの移植活動



緑の少年団員

check
活動ポイント

美しい緑の三瓶で育ってきた児童たちの絶滅危惧種への思いが真っ直ぐに伝わってきました。「ヒロハノカワラサイコは昔、雑草の様にたくさん生えていました。これから増えて、いろんな所に広がっていくと嬉しいです!」と。自分たちの手で自然を守って行こう!とするこの活動が基となり、今後も児童たちが自然との真の関わり方を学び、行動していかれることを望みます。

*2 ヒロハノカワラサイコ



活動団体 DATA

活動団体名：
大田市立池田小学校 緑の少年団
住所：島根県大田市三瓶町池田 2242
電話：0854-83-2642
URL：<https://www.ohda.ed.jp/>